

8 粉じん濃度の測定に使用した機器等 (1日目、2日目)

イ 分粒装置を用いるろ過捕集方法及び重量分析方法

ロ 相対濃度指示方法

イ	質量濃度測定	④① サンプラーの名称及び型式		④② 分粒装置の名称及び型式	
		④③ 吸引流量	/min	④④ 捕集時間	分間
		④④ -(2)天秤の機器名及び型式(読取限度)	(mg)	④④ -(3)ろ過材の種類	
ロ	相対濃度測定 (併行測定)	④⑤ 使用機器名		④⑥ 型式	
		④⑦ 較正年月日	年 月 日	④⑧ 較正証番号	
		④⑧ -(2)サンプリング時間	分間		
	相対濃度測定 (A・B測定)	④⑤ 使用機器名		④⑥ 型式	
		④⑦ 較正年月日	年 月 日	④⑧ 較正証番号	
	④⑧ -(3)A 測定のサンプリング時間			分間	

9 質量濃度変換係数の決定

併行測定の実施		⑤① 相対濃度	{ }	⑤③ 捕集時間	分間	⑤③-(2) 粉じん量	mg
		⑤② 質量濃度	mg / m ³	⑤④ 質量濃度変換係数	K ₁ =		
過去の値の利用	測定実施日	相対濃度 { }	質量濃度 mg / m ³	捕集時間 分間	質量濃度変換係数	相対濃度計の較正	
						較正年月日	較正証番号
	1回目						
	2回目						
	3回目						
	⑤⑨ 質量濃度変換係数	K =					
厚生労働省労働基準局長が示す数値	⑥⑩ 質量濃度変換係数	K =					

10 遊離けい酸含有率の測定

⑥1 測定方法	エックス線回折法（使用機器名及び型式： _____ ）		
	りん酸法	その他（ _____ ）	
⑥1-(2)自機関・外部委託	自機関	外部委託（委託機関名： _____ （機関登録番号： _____ （測定者： _____ （測定士登録番号： _____）	
⑥2 試料の種類	浮遊粉じん	堆積粉じん	原材料
粒度調製方法	再発じん法	液相沈降法	その他（ _____ ）
⑥2-(2)定性結果	石英	クリストバライト	トリジマイト
⑥2-(3)定量結果	石英： クリストバライト： トリジマイト：		
⑥3 遊離けい酸含有率	$Q = \text{ \%}$ （石英 \% + クリストバライト \% + トリジマイト \% ）		
⑥3-(2) 分析日	_____ 年 _____ 月 _____ 日 ~ _____ 年 _____ 月 _____ 日（ _____ 日間）		

11 測定結果

	区分	1 日 目	2 日 目	M及び
	A 測定	⑦1 幾何平均値	$M_1 = \text{ mg / m}^3$	$M_2 = \text{ mg / m}^3$
⑦2 幾何標準偏差		$\sigma_1 =$	$\sigma_2 =$	$=$
⑦3 第1評価値		$EA_1 = \text{ mg / m}^3$		
⑦4 第2評価値		$EA_2 = \text{ mg / m}^3$		
B 測定	⑦5	$C_B = \text{ mg / m}^3$		

12 評価

⑦9 評価日	_____ 年 _____ 月 _____ 日			
⑧0 評価箇所	②1の単位作業場所と同じ			
評価結果	⑧1 管理濃度	$E = 3.0 / (0.59Q + 1) \text{ mg / m}^3 =$		 mg / m^3
	⑧2 A 測定の結果	$EA_1 < E$	$EA_1 \leq E$	$EA_2 > E$
	⑧3 B 測定の結果	$C_B < E$	$E \times 1.5 \leq C_B \leq E$	$C_B > E \times 1.5$
	⑧4 管理区分	第1	第2	第3
⑧5 評価を実施した者の氏名				